

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:2024年 3月29日

事業所名:さとうま

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	馬の牧場なので馬の活動ができる800㎡以上のグラウンド。感覚統合のマット、トランポリンを有するプレイルーム。ブランコ、滑り台、ツリーハウスの野外スペースなど。施設は充実している。	他にない野外の広さに満足している。	さらにニーズに応じた環境整備、遊び道具の充実化などこれからも進めていきます。
	2	職員の適切な配置	基準を満たしている。	あと一人スタッフがいてくれるとよい。	2024年度は基準以上の配置を予定しています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	馬が暮らす環境。段差はなく。敷地内は自由に走り回れる。グラウンド、休憩場所、プレイルームは子どもたちが迷わず自由に行き来できる。子どもの特性ニーズに応じて過ごせる環境になっている。	環境には満足している。	様々な特性の子どもが自由に馬と暮らせる場所を目指して、設備の整備を行なっていきます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	馬との触れ合える。つかれたらハンモックで揺られて休憩、ブランコ、直径8mのトランポリンではしゃいだり、休憩したり。子どもの関係性やニーズに合わせて過ごせる環境を作っている。	子どもたちは心地よく過ごしている。	子どもたちがたくさん遊べて、自由に過ごせる場所を作っていきます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	子どものニーズにあった運営にするために、業務改善に取り組んでいる。スタッフ共有のメッセージャーを使って気づいた時に改善点を出し合う環境。問題解決とその共有を図っている。		スタッフみんなで業務改善に取り組んでいきます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価はしていません。グループ内の他の事業所との情報交換を通じて業務の見直しを常に行っている。		第三者評価も検討していきます。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修機会を通じて職員の資質の向上を図っている。グループ内での定期研修も実施。資格試験への対応などもサポートしている。		職員の質の向上をはかれるよう、研修の機会を提供していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもや保護者のニーズを面接でくみ取った上で、計画を作成している。		
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	児童の特性や活動状況に応じて、個別、集団に分けて柔軟に組み合わせている。個々の児童の距離感、ニーズ、運動の質によって、活動内容にも反映させている。	活動プログラムには満足しています。ただ保護者への説明はまだ少ないと感じています。	定期的な面接の機会を設けて、支援の情報共有を図っていきます。支援の具体的な課題を保護者と共有して、計画を進めていきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	面談や保護者と情報交換を通じて、具体的な課題を明確にして、項目を設定している。		
適切な支援の場	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画に沿った適切な支援を実施している。	支援の実施には満足しています。	計画性をもって取り組めるように、改善して行きます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	チーム全員で子どもの特性を理解してプログラムの立案に意見を出し合っている。		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇や休日など、利用時間が変わる際に改めてすり合わせなどを行なっている。	活動プログラムについては満足しています。個別の支援内容や利用時間などにも対応できていると感じています。	一つの見方ではなく、チームが一丸となって支援できるよう努めていきます。環境や状況に合わせて柔軟に対応していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	馬の暮らし方セラピーは、利用者の成長に応じて変化していくプログラム。個々成長に応じてそのニーズに対応できるよう工夫している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供 も (続 き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	利用者に応じて支援内容が異なるため、職員間でその日の参加者と支援内容、役割分担の確認を行なっている。	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に職員間で支援の振り返りを行なって、それを情報共有している。	
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援の実施記録を残している。記録をもとに保護者との情報共有を図るとともに、支援の検証・改善も実施している。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回以上のモニタリングを行い、計画の見直しを行なっている。	
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	児童の状況に精通した職員が参画している。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在はありますが、必要に応じて関係機関と連携した支援の実施していきます。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的なケアが必要な場合、入会前に保護者と話し合っ、必要であれば主治医との意見交換した上で、受け入れ可能か検討します。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて情報共有、提供します。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	必要に応じて情報共有、提供します。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修をうけるようにしています。オンライン、オフライン両方の研修に参加していきます。		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流の機会はありませんが、必要に応じて検討していきます。	交流していないと感じています。	必要に応じて検討します。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	動物の取り扱い対応や新型コロナなど感染対策もあり現在は行なっていません。利用者や保護者の要望等に配慮して検討していきます。	よく分からない。	今後検討していきます。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	初回面接時に丁寧に行なっています。必要に応じてその都度説明を行なっています。	初回到説明を受けました。	必要に応じてその都度説明を行なっています。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面接などを通じて支援内容の丁寧な説明を行うとともに、子どもの成長に応じた改善や取り組みについても理解が得れるよう勤めています。	支援計画の説明を聞く機会は少ない。	定期的な面接の機会を設けて、支援の情報共有を図っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	子どもへの支援活動を通じて、子どもの行動への理解や対応方法を個別に保護者にも伝えています。	十分な対応はできていない。	ペアレント・トレーニングへの理解もふくめて、様々な機会に情報提供していきたい。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の送迎やLINE、定期的な面談、個別支援計画等において情報共有を図っています。	子どもの発達の課題については、丁寧に説明されているし、日々の共通理解はある。	今後とも丁寧な説明、共通理解が必要です。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	LINEや面談などで対応し、個別に支援しています。	十分な対応ができていないと感じる。	保護者との情報共有の機会を設けます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会の具体的な活動はありませんが、保護者同士の連携への支援はおこなっていきます。	保護者会はありません。	保護者同士の連携への支援はおこなっていきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情窓口の設置、周知しています。苦情があった場合は解決にむけて適切に対応しています。	初回面接以外では苦情の対応について情報提供は少ないと感じている。	保護者との情報共有の機会を設けます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	分かりやすい、伝わりやすい方法で行なっています。	よく分かりません。	状況に応じて、伝わりやすさを工夫して対応していきます
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	LINEを通じて活動記録を配信しています。	LINEで活動記録が配信されるようになった。	活動を理解いただけるよう情報発信には今後とも努めていきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報は鍵付きのスチール棚に保管している。個人情報の扱いはミーティングで職員に対して注意喚起している。	個人情報の扱いはできていると感じます。	個人情報の取り扱いには引き続き注意して取り扱います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを策定し職員研修や面談時に伝えていきます。	新型コロナへの対応については説明がありましたが、その他緊急時の対応について情報提供はされていません。	対応マニュアルを作って、周知していきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年1回(3月ごろ)避難訓練、災害対策の対応訓練を実施しています。	台風や豪雨による活動中止のお知らせはありますが、利用者への避難訓練が実施されているのかわかりません。	高台の広場のような場所に牧場があり、また建物が閉鎖空間でなく、避難が容易なために、緊急対応について十分な情報を提供できていませんでした。災害時の対応の情報を周知します。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止研修は毎年必ず実施し、定期的に外部の研修等にも参加しています。		引き続き虐待防止に取り組んでいきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	必要に応じて面談を行い支援計画等に記載しています。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	通常は飲食の提供はありませんが、契約時に必ずアレルギーの有無を確認し、家族と連携しながら対応しています。		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	日々のミーティング等で挙げた事例を記録して情報の共有を図っています。		